

次世代経営者錬成講座開設趣旨

今や全世界が実質的に自由主義経済化し、企業間競争は世界規模で行われるようになりました。国内だけに目を向けても、人口減少により、今までと同じやり方をしているだけでは売上が減少することは確実です。一方で少子化の影響を受け、人手不足が深刻化するとともに、コストとしての人件費は確実に上昇していきます。更には、通信やAIを中心とした技術革新はビジネスのカタチそのものを変えてきています。このような環境の中で日本企業はどのように戦っていけばよいのでしょうか。そして、**経営者はどのようにして自社が存続発展していくための道筋を組み立て、そして社員に示していけばよいのでしょうか**？

また、東芝、日産、神戸製鋼と、近年、「一流」と言われていた企業において、不祥事が次々と明るみに出てきています。なぜ、このような事が起きるのでしょうか。そして、**経営者はどうすればこのような不祥事が起きない企業風土を作り上げることができるのでしょうか**？

旧慣墨守の退嬰的経営では時代の急展開の前に取り残されることは必至です。社会の公器として、小手先の利益創出手段に頼ることなく、これからの時代に向け飛躍しうる革新的経営をいかに実現するかが問われていると思います。

そして、この問いに答えうるか否かは、経営の任にあたる経営トップ陣の情熱と能力のいかんにかかっていることは言うまでもありません。

格言に曰く 「一人に以て国は興り、一人に以て国は滅ぶ」と。

また、経営の「存続」を考えると、最も根本的な課題は次世代の経営幹部を着実に育成していくことにあると思います。

しかし、現実はどういうと、多くの企業において、部長クラスに対する以下のような声が現経営陣や課長クラス以下の部下から聞かれます。

- ・課長から部長になり、直接的な部下指導は課長が担う中、自身の役割が見いだせず、単なる中間管理職になってしまっている。
- ・革新が求められているにも関わらず、現状延長線上の施策しか打ち出せず、短期業績の進捗管理しかできていない。
- ・経営から出される方針には特に反対はしないものの、実際の部門運営に落とし込めていない。
- ・全く経験のない課や職種を管理することになり、どのように関与すれば良いのか分かっていない。

ここに開設する「次世代経営者錬成講座」は、

1. 次の世代に経営の全責任を負う経営幹部の候補者を対象として
2. 「企業環境の見方」「発展成長の考え方」「社会の公器として判断基準のあり方」「経営幹部としての職務観」を検討し、
3. 異業種人材との磨き合いの中で、自社・自部門のあり方と現状課題を明確にし、
4. 経営幹部候補者としての自らの「志」を固めるとともに、「志」実現に向けた具体的道筋を掴む、ことを主眼とするものです。

貴社より、これからの経営幹部たることを期待される候補者を御派遣いただき研修の成果をあげ、貴社の経営革新と戦力強化並びに次世代経営への着実な移行準備のお役に立てば幸いです。

次世代経営者錬成講座 基本プログラム

合宿研修前	<u>事前課題</u> 価値観に関するアセスメント・自分史作成
-------	------------------------------------

	午 前	午 後	夜
第1日 (土)	昼 集 合	<u>オリエンテーション講義</u> 「これからの日本の 経営幹部のあり方」 <u>講義・MDP</u> 「これからの企業環境、 これからの世界・日本」①	<u>グループ</u> <u>ディスカッション</u> 「これからの日本の 経営のあり方」
第2日 (日)	<u>グループ</u> <u>ディスカッション全体討議</u> 発表・質疑・コメント <u>講義・MDP</u> 「これからの企業環境、 これからの世界・日本」②	<u>講義・演習</u> 「経営数字の見方と 『投資』の考え方」 <u>グループ</u> <u>ディスカッション</u> 「倒産ケーススタディー」	<u>グループ</u> <u>ディスカッション</u> 「各社の経営環境と 経営方針のあり方」
第3日 (月)	<u>グループ</u> <u>ディスカッション全体討議</u> 発表・質疑・コメント <u>講義・MDP</u> 「トップマネジメントと ミドルマネジメントの違い」	<u>講義・MDP</u> 「経営幹部としての 意思決定のあり方」 <u>講義・演習</u> 「目指すべき経営幹部像とは」	<u>グループ</u> <u>ディスカッション</u> 「担当部門の現状と課題」
第4日 (火)	<u>グループ</u> <u>ディスカッション全体討議</u> 発表・質疑・コメント <u>講義・演習</u> 「経営幹部としての 心の置き方」	<u>講義・演習</u> 「経営幹部としての 自分のあり方」 <u>講義</u> 「経営幹部としての 能力向上法」	<u>論文作成</u> 「わが社の経営の基本課題 ・解決方向と私の任務」 <u>目標設定</u> 「一流経営者に向けた 3ヵ月後のありたい姿」
第5日 (水)	<u>論文発表</u> 質疑・コメント <u>終講式</u> 終了スピーチ・終了講義	昼食後解散	

(注－1) プログラムの一部を変更する場合がありますので、ご了承下さい。

合宿研修後 3ヵ月間	<u>コーチングセッション</u> 合宿研修で設定した「3ヵ月後のありたい姿」をテーマに、月2回、3ヵ月間にわたりコーチングセッション（1回60分）を行い、目標達成や行動の習慣化のためのフォローアップを行います。 セッションは原則、電話で行います。（通信費は弊社負担） セッション時以外でも、コーチングのテーマに関してはメールによる相談対応を行います。
---------------	---

(注－2) セッションの日時は、合宿研修終了後に受講生本人と調整の上、6回分を予め決めます。（予定変更の相談には応じます。）

第10回 次世代経営者錬成講座実施要領

(一流管理職錬成講座より通算31回目、次世代経営幹部錬成講座より通算13回目)

日 時 2019年10月19日(土)～10月23日(水) ※合宿研修

合宿場所 山形県上山市 蔵王坊平高原 ライザ・ウッディロッジ

交 通 ① 到着の日は、東北・山形新幹線かみのやま温泉駅にバスを出します。
東京発8:56 → かみのやま温泉着11:28分の東北・山形新幹線「つばさ129号」
をご利用下さい。
② 現地直行の方は、12:00までに「ライザ・ウッディロッジ」に御集合下さい(山形空
港より車で1時間20分、かみのやま温泉駅より車で30分位です)。
(ダイヤ変更の可能性もありますので上記詳細は、「事前留意事項」で御案内します。)

参加対象 a 現に部長職以上にあり、将来の経営陣として期待されている方またはそれに準ずる方
b 原則として年齢40歳～60歳(45歳～55歳位が一番望ましい)
(但し、以上を充足しなくても、当方で参加資格を認定した方は受け付けます。)

定 員 15人

参 加 料 300,000円(消費税別)
※5日間の合宿研修および3ヵ月間のコーチングセッション、資料代、宿泊費等含む

参加手続 参加申込書を弊社宛にe-mailまたは郵送にて送付していただきます。
原則として、申込順としますが、申込者が適当でないと思われる時は、派遣責任者に連絡の
上、変更をお願いすることがあります。

参加迄の手順

1. 申込をいただきますと、当方より会社および本人に受付の連絡をすると共に「事前留意事項」、
課題図書『企業および企業人(七訂版)』、参考図書『経営方針と経営戦略』(改訂版)、各種ア
セスメント等事前課題をお送りします。
2. 申込確定締切りは9月16日(月)(参加者確定のこと)と致します。

終了時間について

以下の新幹線に間に合うように終了します。

東京・山形新幹線 つばさ144号(かみのやま温泉発14:13→東京着16:48)に間に合
うようバスを出します。

(ダイヤ変更の可能性もありますので上記詳細は、「事前留意事項」で御案内します。)

以上

西暦 年 月 日

次世代経営者錬成講座 受講申込書

会社	社名及び代表者名	
	住所・電話番号	〒 TEL () —
連絡責任者	所属部署・電話番号	TEL () —
	役職	
	ふりがな 氏名	
	e-mail・address	
受講者概要	受講者人数	_____人
	受講者の基本属性	記入例：部長相当資格昇格者 など
	受講させる目的	

※上記内容を e-mail にて info@nihon-keieikaihatsu.co.jp 宛にお送り頂いても結構です。

※上記申込とは別に以下の事項を記載した受講者リストを e-mail にてお送り下さい。

- ①受講者氏名、②ふりがな、③e-mail・address、④生年月日、⑤入社年月日、
⑥所属部署、⑦役職、⑧本人連絡先（携帯電話番号）、⑨出身大学および専攻